

編集後記：南極観測船「しらせ」がたくさんの方々に見送られながら晴海を出港してもう3カ月近く経ちました。2月1日には第34次南極地域観測越冬隊と第35次越冬隊の引継が行われ、20日には越冬が成立します。第35次隊員として気象庁から送りだした6人も、厳しい自然の中で元気に活躍していることと思います。

35次隊気象部門では通常の気象観測のほかに、波長別紫外域日射観測装置の整備、ドブソン分光光度計の自動化、すでに国内では旧型からの移行が進んでいる91型レーウィンゾンデのテスト飛揚、氷床ドーム深層掘削観測計画の3年目への参加などの任務があります。極寒の中での長年の観測によって蓄積されてきた値と同精度以上の観測が今年も続けられ、正確な気象データの提供がなされるよう、準備に携わったものとしては観測隊員の健康とともにただただ願うばかりで

す。

さて、最近ますますおもしろくなってきたと言われる「天気」の、月1回の編集委員会では、新しい企画の検討や内容をよりよく読みやすくするための討議が行われています。「天気」が楽しくなっていくよう、ご指摘やご意見等ございましたらお寄せくださるようお願いいたします。
(中村雅道)

「天気」掲載の報文の著作権については、従来から毎号の「天気」投稿規定に、日本気象学会に所属することが明記されています。今回気象学会が、学協会著作権協議会と複写に係わる権利委託契約を結ぶに際して、その著作権の所属をより明確にするために、1月号より、個々の報文について著作権の所属を明記することになりました。
(委員長)